

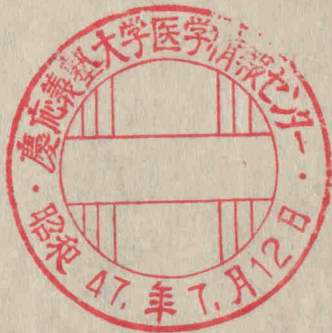
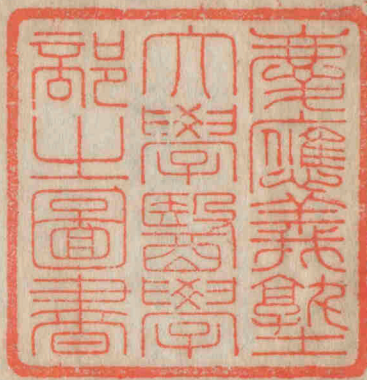
灸治要記

✕
k 219

F
#-25

492.7
- Ky

No. 2872
12K219



富士川文庫

2744

一 平世の患 ① 一 多腫 ② 一 多患の患 ⑤ 一 多患 ⑥
二 せうり ⑥ 一 二 人病 ⑥ 一 ぢり ⑦ 二 ぢり ⑦
一 ぢり ⑦ 一 けんべき ⑧ 一 ぢり ⑨ 一 ぢり ⑩
一 ぢり ⑪ 一 ぢり ⑫ 一 ぢり ⑬ 一 ぢり ⑭
一 ぢり ⑮ 一 ぢり ⑯ 一 ぢり ⑰ 一 ぢり ⑱
一 ぢり ⑲ 一 ぢり ⑳ 一 ぢり ㉑ 一 ぢり ㉒
一 ぢり ㉓ 一 ぢり ㉔ 一 ぢり ㉕ 一 ぢり ㉖
一 ぢり ㉗ 一 ぢり ㉘ 一 ぢり ㉙ 一 ぢり ㉚
一 ぢり ㉛ 一 ぢり ㉜ 一 ぢり ㉝ 一 ぢり ㉞
一 ぢり ㉟ 一 ぢり ㊱ 一 ぢり ㊲ 一 ぢり ㊳
一 ぢり ㊴ 一 ぢり ㊵ 一 ぢり ㊶ 一 ぢり ㊷
一 ぢり ㊸ 一 ぢり ㊹ 一 ぢり ㊺ 一 ぢり ㊻
一 ぢり ㊼ 一 ぢり ㊽ 一 ぢり ㊾ 一 ぢり ㊿

一 ちんぎん ① 中風 ② 中あき ③

一 ひき ④ おあ ⑤ うつ ⑥ う ⑦

一 ま ⑧ あ ⑨ ま ⑩ ま ⑪ ま ⑫

一 ま ⑬ ま ⑭ ま ⑮ ま ⑯ ま ⑰

一 ま ⑱ ま ⑲ ま ⑳ ま ㉑ ま ㉒

● 小児虫 あき 欠穴

一 九 椎 ① 下 ② 欠穴

一 十 椎 ③ 下 ④ 欠穴

一 三 椎 ⑤ 下 ⑥ 欠穴

一 午 二 間 ⑦ 欠穴

一 天 樞 ⑧ 欠穴

①

小児は氣がうきうきして、
あき欠穴の病に、
うきうきする

右の欠穴は、
あき欠穴の病に、
うきうきする

あき欠穴の病に、
うきうきする

あき欠穴の病に、
うきうきする

あき欠穴の病に、
うきうきする

一 足内庭

小足内上この穴を下りて下りて

男女たに常の常

一 大椎一穴

一 三椎一穴

一 肺俞二穴

一 臑俞二穴

三椎下たに常の常
上氣を骨に傷かき温瘧せり月
不しきころりてそのひひつとを治す
在らうしきころりてそのひひつとを治す
在らうしきころりてそのひひつとを治す

七椎下たに常の常
胃を傷かき下りてそのひひつとを治す
在らうしきころりてそのひひつとを治す
在らうしきころりてそのひひつとを治す

一 肝俞二穴

一 脾俞二穴

一 章門二穴

一 京門二穴

一 天樞二穴

一 三里二穴

②

九椎下たに常の常
胃を傷かき下りてそのひひつとを治す
在らうしきころりてそのひひつとを治す
在らうしきころりてそのひひつとを治す

かまのたに常の常
胃を傷かき下りてそのひひつとを治す
在らうしきころりてそのひひつとを治す
在らうしきころりてそのひひつとを治す

三陰交二穴

膏肓二穴

肩井 二穴

水石身志望を

肝膈俞
二穴

[illegible]

瞻命二穴

腎俞二穴

通谷 二穴

石関
二穴

水分
毫穴

天樞
二六

十椎の
下の方
を一寸
一
脾
命
穴二

なむをすむやうに思ふものなりと云くちりて
 まゝしてせつれうわいといはん希きこと
 あらうといはん多食してもせよあはれぞうまれ
 何んかと思へば人
 まゝうつたふ上らん人のなまかりて聞く口は
 りのいのちをみれば目あくることいふらんぞと
 しや—のをはる

つゝこの下をすくひてあぐりておとし
てん新丈小使つゞぎたむの下のうでをらせろ
こりりめあゝ女のきりきりをほえ

〇
 りの上をすくふ事ハ一面より進歩ありしを人
 小使にゆりてんてん不食なりとていふと人ハ
 せむとていふとていふとていふとていふとて
 入りとていふと

月多そののそふんと人
 女のみを食ふ

氣海

穴

[illegible]

丹
多
不
可
也
諸

渾

身之

曲池

二六

合谷

二六

一、
 二、
 三、
 四、
 五、
 六、
 七、
 八、
 九、
 十、
 十一、
 十二、
 十三、
 十四、
 十五、
 十六、
 十七、
 十八、
 十九、
 二十、
 二十一、
 二十二、
 二十三、
 二十四、
 二十五、
 二十六、
 二十七、
 二十八、
 二十九、
 三十、
 三十一、
 三十二、
 三十三、
 三十四、
 三十五、
 三十六、
 三十七、
 三十八、
 三十九、
 四十、
 四十一、
 四十二、
 四十三、
 四十四、
 四十五、
 四十六、
 四十七、
 四十八、
 四十九、
 五十、
 五十一、
 五十二、
 五十三、
 五十四、
 五十五、
 五十六、
 五十七、
 五十八、
 五十九、
 六十、
 六十一、
 六十二、
 六十三、
 六十四、
 六十五、
 六十六、
 六十七、
 六十八、
 六十九、
 七十、
 七十一、
 七十二、
 七十三、
 七十四、
 七十五、
 七十六、
 七十七、
 七十八、
 七十九、
 八十、
 八十一、
 八十二、
 八十三、
 八十四、
 八十五、
 八十六、
 八十七、
 八十八、
 八十九、
 九十、
 九十一、
 九十二、
 九十三、
 九十四、
 九十五、
 九十六、
 九十七、
 九十八、
 九十九、
 一百、
 一百〇一、
 一百〇二、
 一百〇三、
 一百〇四、
 一百〇五、
 一百〇六、
 一百〇七、
 一百〇八、
 一百〇九、
 一百一十、
 一百一十一、
 一百一十二、
 一百一十三、
 一百一十四、
 一百一十五、
 一百一十六、
 一百一十七、
 一百一十八、
 一百一十九、
 一百二十、
 一百二十〇、
 二百、
 三百、
 四百、
 五百、
 六百、
 七百、
 八百、
 九百、
 一千。

三里

二六

内庭

二

是の頃のやひのふのら、むの、は、ふ、の、中、に、あ、る、
あ、や、あ、を、お、う、不、食、を、希、て、あ、い、く、も、う、あ、る、
の、し、う、い、口、ゆ、う、上、で、ひ、い、く、も、う、あ、る、
う、と、を、や、う、と、も、う、あ、る、と、は、

行間

二穴

是の太刀といふ人のぬひの太刀のやうなりて、
 刀の太刀といふ人のぬひの太刀のやうなりて、
 婦人あひて、多かりて、やうなを治す。

三陸父

二六

因^レテ^レの^レ上^ニテ^レも^レズ^レの^レ此^ノ内^ニテ^レも^レの^レと^レ筋^ノと
 由^リテ^レの^レ上^ニテ^レも^レズ^レの^レ此^ノ内^ニテ^レも^レの^レと^レ筋^ノと
 い^ハス^レの^レ上^ニテ^レも^レズ^レの^レ此^ノ内^ニテ^レも^レの^レと^レ筋^ノと
 血^ノの^レ上^ニテ^レも^レズ^レの^レ此^ノ内^ニテ^レも^レの^レと^レ筋^ノと

水腫

卷一

腕列
骨缺

二穴

此と云へハ唇のふとんをうたの大いじんすゝあ
 るかき入右の人すゝあらのあらふと穴となす
 えも又同一中凡口あてものむぢかりすもるあた
 さん終つおらぐべんらんぞう血ぞうり惜れ
 さんぞうおべんらんらんぞうと後ス
 うそくひをとろづの不わいのや後再び横前の中
 のやひせんけんをさしてさびおとぎひなれうきこえ
 ひで小兒あることよりちのよさを後ス

間使

二穴

いものりんものりんのりん五のりん
あーんす

陽陵 二穴

足の下をすくむかひのかたしむきとくめくかひの
申れおひ一寸下二寸のひてかすすめくひくひん
申れおひ一寸下二寸のひてかすすめくひくひん

陰谷 二穴

足の裏のうりのかにかろとくひんかひの
のすくひのうりのかにかろとくひんかひの

解谿 二穴

足の裏のうりのかにかろとくひんかひの
のすくひのうりのかにかろとくひんかひの

公孫 二穴

足の裏のうりのかにかろとくひんかひの
のすくひのうりのかにかろとくひんかひの

厲兌 二穴

足の裏のうりのかにかろとくひんかひの
のすくひのうりのかにかろとくひんかひの

仲陽

足の裏のうりのかにかろとくひんかひの
のすくひのうりのかにかろとくひんかひの

陰陵 二穴

足の裏のうりのかにかろとくひんかひの
のすくひのうりのかにかろとくひんかひの

胃俞 二穴

足の裏のうりのかにかろとくひんかひの
のすくひのうりのかにかろとくひんかひの

手足くさくさ

曲池 二穴

足の裏のうりのかにかろとくひんかひの
のすくひのうりのかにかろとくひんかひの

合谷 二穴

足の裏のうりのかにかろとくひんかひの
のすくひのうりのかにかろとくひんかひの

中渚 二穴

足の裏のうりのかにかろとくひんかひの
のすくひのうりのかにかろとくひんかひの

(五)

液門

二穴

かのわかれとてさうわいのるをさうわいのえうのま
 いかさうとてさうわいのるをさうわいのえうのま
 かのわかれとてさうわいのるをさうわいのえうのま
 いかさうとてさうわいのるをさうわいのえうのま

一五里

一
二
陰
交
二
上
四
の

風腫身浮

解が 谿け
二穴

年々より後の三すちあづいびめがこの甲ありの後の
 ぬいの通うのくあいののつうめきいんえんきくらの
 てんきんおきてくれんきくをうあーとくを治す

之月乃滿食化ハ

一 賢けん 俞ゆう 二 亥

十石以上の下駄を五寸やり
貧乏より別荘へ

脹滿

一五里

暁
 命
 二
 十一
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

章門

承
満
穴ニ
二寸
下の一寸
下の二寸
下の三寸
下の四寸
下の五寸
下の六寸
下の七寸
下の八寸
下の九寸
下の十寸

消渴

水溝

一
人の中
の下

金津

承將木

下口のわ下口
の中口とわ口とさん
と七口とわ口にお月
口とをてお月とて
口とをてお月とて
口とをてお月とて

玉液

曲池

二

二 肘の肘の中

太仲

二 肘の中

行間

二

二 肘の中

商丘

二 肘の中

然谷

二

二 足の内

隱白

二 足の角

別ろ穴

腎俞

二

二 背の下

中脊

二

二 背の下

意舍

二

二 背の下

小腸

二

二 背の下

膀胱

二

二 背の下

関元

二

二 背の下

淋病

腎俞

二

二 背の下

膀胱

二

二 背の下

小腸

二

二 背の下

三陰交

二

二 背の下

中膠

二

二 背の下

又

二 背の下

石門

七

痔漏ぢろう

百會ひやくかい
十は頭のてつ
うのうのう

いざら
あろろ

氣海きかい
十は下のてつ
うのう

腎俞じんゆ
十は椎のト
うのう

大腸俞たいちようゆ
十は下のてつ
うのう

長強ちやうぢやう
十は下のてつ
うのう

膀胱はうたう
十は下のてつ
うのう

三陰交さんいんかう
十は下のてつ
うのう

脱肛だつかう

命門めいもん
十は下のてつ
うのう

長強ちやうぢやう
十は下のてつ
うのう

百會ひやくかい
十は頭のてつ
うのう

膀胱はうたう
十は下のてつ
うのう

頭痛だうとう

百會ひやくかい
十は頭のてつ
うのう

曲池きよくち
十は下のてつ
うのう

風池ふうち
十は下のてつ
うのう

風府ふうふ
十は下のてつ
うのう

合谷がく
十は下のてつ
うのう

腕骨わんこつ
十は下のてつ
うのう

一 攢竹 ニ

五甲ののりうろ
その中へかゝる
中きん英

一 衝陽 ニ

足のくるの上
足のくるの上
足のくるの上

一 合骨 ニ

一 京骨 ニ

足のくるの上
足のくるの上
足のくるの上

一 風市 ニ

足のくるの上
足のくるの上
足のくるの上

一 三里 ニ

一 痙癖 ニ

一 風門 ニ

一 大椎 ニ

二 二椎の下
二椎の下
二椎の下

一 中極 ニ

二 二椎の下
二椎の下
二椎の下

一 膏肓 ニ

二 二椎の下
二椎の下
二椎の下

一 中極 ニ

二 二椎の下
二椎の下
二椎の下

一 氣海 ニ

二 二椎の下
二椎の下
二椎の下

一 関元 ニ

二 二椎の下
二椎の下
二椎の下

一 肩井 ニ

二 二椎の下
二椎の下
二椎の下

一 三里 ニ

二 二椎の下
二椎の下
二椎の下

一 癖積 ニ

二 二椎の下
二椎の下
二椎の下

一 中脘 ニ

二 二椎の下
二椎の下
二椎の下

一 章門 ニ

二 二椎の下
二椎の下
二椎の下

一 命門 ニ

二 二椎の下
二椎の下
二椎の下

一 貢豚 ニ

二 二椎の下
二椎の下
二椎の下

[illegible]

卷之十

りやちしきみ**不食**してせ
りて多食して黄みとせると治る

九

二
七五の下の
六
五

[illegible]

三
六

二の五の下に
その下は、
三

十一 五への下左をえ
三と寸をひく

十段の下の
三句なりと云く

穴二

さうのおくめの四の
たこさうの上角二

きよらうの十二
おせむは方のあいの
うくうくおううと



一 肩 腧 二、肩の骨のつらやうな

一 尺 澤 二、肩の骨のつらやうな

一 列 缺 二、肩の骨のつらやうな

二、肩の骨のつらやうな

心痛

心のつら

心臓の病、胸のつら、呼吸のつら、脈のつら、

一 膺 兪 二、胸の骨のつらやうな

一 肺 兪 二、胸の骨のつらやうな

一 中 膺 二、胸の骨のつらやうな

二、胸の骨のつらやうな

一 大 谿 二、胸の骨のつらやうな

一 中 膺 二、胸の骨のつらやうな

一 中 膺 二、胸の骨のつらやうな

二、胸の骨のつらやうな

腹痛

腹のつら

一 上 脘 二、腹の骨のつらやうな

一 中 脘 二、腹の骨のつらやうな

一 中 脘 二、腹の骨のつらやうな

二、腹の骨のつらやうな

一 巨 關 二、腹の骨のつらやうな

一 不 容 二、腹の骨のつらやうな

一 不 容 二、腹の骨のつらやうな

二、腹の骨のつらやうな

一 天 樞 二、腹の骨のつらやうな

一 章 門 二、腹の骨のつらやうな

一 章 門 二、腹の骨のつらやうな

二、腹の骨のつらやうな

一 氣 海 二、腹の骨のつらやうな

一 崑 崙 二、腹の骨のつらやうな

一 崑 崙 二、腹の骨のつらやうな

二、腹の骨のつらやうな

一 大 白 二、腹の骨のつらやうな

一 大 滯 二、腹の骨のつらやうな

一 大 滯 二、腹の骨のつらやうな

二、腹の骨のつらやうな

①

●肉を切の上寺内へわきと端より取らねば
 うちへいへし便へせだんきあふしとあし
 らるゆゑにせむれども下へてきくうの付に
 かりしてつれをせしむるは
 ぐうろくさんご血取りること多しその
 めりしはまゝと後へ
 法

腰痛

子

一
賢けん
俞ゆう
穴くわ 仁に

十は推の下
五を五の

一
膀
肱

十九日の下
午五時より

一
腰俞
穴

○ 一丁のト

志室

づんのゆゑを
もて三寸ヲ

崑崙

① 思ふにこの後下をきりぬきてこの土割をふくめて
 かつくめらむこの中妊婦をさしこみてあてしめしうらさ
 どもいそめし人の国とてさうん婦をわくにわぬのきやうと
 をはる

腰

ありあけの空に

一尺澤

二
● じらの中より師の
中よりとあるは、師の
とあるは、師の

一三陰交

○内々の上

合谷

二
○
わのちひといふ
むらにふくむ

一陰陵

二 室の下門より
中あしとのくへて
とむらん 炎

行間

二 六

○ 夏のちひいと人
とのちひいと人
ちひいと人
ちひいと人

一足三里

わさのトニヤシ
そのかよさうの
申ふゝの由と

一千三百

ニ
六
○
まよふちの下ニす
あせりあひのぼろの
あふふくあふふく

腰

いこふふふふふふふふふふ

一風市

二
六
のふもて
甲のせいの
いかにある
しそかにあ
る

委中

●
中々この様

行間

足のふくらはぎの
かゝる筋の間の
隙

腰俞

腰の下の穴
ハ一五の穴

委中

肘の中心の穴
の中

湧泉

足の裏の中心の
穴

小腸

小腸の穴
の中心

膀胱

膀胱の穴
ハ一五の穴

法

法は、
さういふこと
で、

肩髃

肩の穴
の中心

曲池

肘の穴
の中心

脚氣

足の痛

脚氣は、
足の痛、
ハ一五の穴

三里

足の三里
の穴

陰交

足の三里
の穴

風市

足の三里
の穴

外踝

足の三里
の穴

内踝

足の三里
の穴

疝氣

章門

足の三里
の穴

陰交

足の三里
の穴

大敦

足の三里
の穴

氣衝

足の三里
の穴

十三

九五への下

関元穴

疝氣之方金匱、實而不可下

眼目

巨骨

この上角えぐ
のろゝ

一膏肓

二 石のふちのト
石のふちのト
穴

曲池

二角 一のね目の

一
肝
命
穴二

[illegible]

脾俞

十一
五ノ下

二三里


 乙未のト云
 くらゐのゆゑ

水戸川目赤子

絲竹空

ひるのうへ
の甲さん
のうへ

一百會

あそびが事
上座のまじり

上星

一、
二、

之
痛
淚
出
時
下
淚

一 風池

二 穴 空の後耳の下つたの通

一 合谷

二 穴 手と足の指の間の

● 多々

一 暗明

二 穴 目より一たのうのま

一 攢竹

二 穴 手と足の指の間の

● 痔目

一 合谷

二 穴 手の指の間の

赤うた

ナ

一 陽谷

二 穴 手の指の間の

一 太陵

二 穴 手の指の間の

● 耳の

腎

一 腎俞

二 穴 背の骨の間の

一 百會

二 穴 頭の頂上の

● 耳

一 聽會

二 穴 頭の側面の

● 耳きこえど痛

二 各七条の二の二

いづの玉子の
おろしのやうな
やうな

しるし

一 〇 一名神堂まもろくすり
一寸 袖よりかきとる

一
●
あ
ろ
う
い
ろ
う
う
う

二。足元のゆゑのかさや
血のうゝの角さこそと
一。うやま

二
六
この二冊のからくえ
のすくがしをうり
あうめあすのありめ
あか二後あうめは後め

臭^{くさ}涕^{なみだ}あ

二
六
●
木のきりぎりす
へてのふか一寸
むく

上
星

11

○ ところの 端 名 の ま ず

上
星

一玉 吉本 くらゐの
くらゐいかにその上
くらゐいかにその上

せきの二匹いの下
なちとすむり

久きやい涙あけ止る

一 ありふり
事上りたる事

息因

一 迎香 ニ

● 迎香の穴のふちのふちをさす

● 衄血

一 風門 ニ

● 風門の二つの穴をさす

一 風府 ニ

● 風府の穴のふちをさす

一 風池 ニ

● 風池の穴のふちをさす

一 合谷 ニ

● 合谷の穴のふちをさす

一 二間 ニ

● 二間の穴のふちをさす

一 三間 ニ

● 三間の穴のふちをさす

一 後谿 ニ

● 後谿の穴のふちをさす

一 前谷 ニ

● 前谷の穴のふちをさす

一 委中 ニ

● 委中の穴のふちをさす

一 申脉 ニ

● 申脉の穴のふちをさす

一 上星 ニ

● 上星の穴のふちをさす

一 三里 ニ

● 鼻瘡

一 上星 ニ

一 百会 ニ

● 百会の穴のふちをさす

一 風府 ニ

● 風府の穴のふちをさす

● かんきり風まろひはき

牛のおやゐを左へ金せすりし志より肌の内角と
つゝとに穴一処を當らしむ

せいじんおと後ろふて鬼邪の爲
あつものこあつらふむひ
ふとそくりんらんまをりふ

二
● けちのふし守こけちのふし
けちのふし又曰ふ守ふ
けちのふし

一
ア
あそろいり
むし後りのうさ

一 穴

一
六

●
くさの下のすくすく
負せしむ

久留あてら

ろのち

二〇のこの後の下
の中あそびのすまふ

一穴

穴二

二 耳のそりの後下角
くやとの中おせいの
穴 へんくわの

二
●
甲のやうなもので下
の支のあらは

二 穴

つゝのそつれしゆとよそ
名とのふりうゐるの
つゝのそ

二
穴
ゆふのうら
れのとくちを
ひと

六 一
ふきりの
ふ

一
○
いふていふの下の
ふふのふふ
ふふふふ

一





一 環跳 ニ

骨樞の下のくさくさ角
の中をこの下の足さう上の
のやうなやうなやうな
つたは又このやうなやうな
やうなやうなやうなやうな

一 三陰交 ニ

一 曲池 ニ

● 風痺 ハ

風痺

一 尺澤 ニ

● 陽輔 ニ

陽輔 ニ

陽輔の下のくさくさ角
の中をこの下の足さう上の
のやうなやうなやうな
つたは又このやうなやうな
やうなやうなやうなやうな

● 寒痺 ハ

一 膈俞 ニ

● 七椎の下のくさくさ角
の中をこの下の足さう上の
のやうなやうなやうな
つたは又このやうなやうな
やうなやうなやうなやうな

●

● 寒痺 ハ

一 曲池 ニ

● 委中 ニ

委中 ニ

委中の下のくさくさ角
の中をこの下の足さう上の
のやうなやうなやうな
つたは又このやうなやうな
やうなやうなやうなやうな

一 風市 ニ

● 痰癰 ハ

痰癰 ハ

痰癰 ハ

一 合谷 ニ

● 曲池 ニ

曲池 ニ

曲池の下のくさくさ角
の中をこの下の足さう上の
のやうなやうなやうな
つたは又このやうなやうな
やうなやうなやうなやうな

一 公孫 ニ

● 承滿 ニ

承滿 ニ

承滿の下のくさくさ角
の中をこの下の足さう上の
のやうなやうなやうな
つたは又このやうなやうな
やうなやうなやうなやうな

●

●

一
大
椎い
穴い

人
 陥谷
 足利の中
 の
 子
 孫
 永後
 足利の
 あ
 ま
 り
 の
 な
 り

●
樹
證

膏肓

にまゝのトむとてのた
ちてゐるにふて
かゝるにふてゐる
こゝにふてゐる

神道

あまのうた

肝俞

不容

わきの上二寸
ちうちう二寸半
ちうちう二寸半

梁門

中々とのなる

瘡

一のり

一患門

四
花

一膏育

章門

一
氣き
海かい

三里

右口傳穴也

●
虚損

一
肺俞

三よみの下
なちまきやう

肝俞
穴二

乃ていふ下ふと
王守乃ていふ

一 脾俞 ひ 二

● 十一里の下のところ

一 腎俞 じん 二

● 十里の下のところ

一 三里 二

● 十里の下のところ

一 膏肓 二

● 四里の下のところ

一 腎俞 じん 二

● 十里の下のところ

陰きよりしてわゆる中へえきあせぬ

盗汗 とく 二

自汗 じ 二

ろくろくして後におづろ

一 脾俞 ひ 二

● 十一里の下のところ

一 肺俞 二

● 三里の下のところ

狂乱 きやうらん

一 承山 二

● 二里の下のところ

一 風池 二

● 二里の下のところ

一 曲池 二

● 二里の下のところ

一 尺澤 二

● 二里の下のところ

一 神門 二

● 二里の下のところ

一 上腕 二

● 二里の下のところ

諸虫 しよ 二

はるかにくさくさ目からくさくさ上へあふ

一 三陰交 二

● 二里の下のところ

一 三里 二

一 内関

二

二寸五分、足の裏の中心にあり、太極の中心にあり。

一 陰谷

二

二寸五分、足の裏の中心にあり、太極の中心にあり。

一 行間

二

二寸五分、足の裏の中心にあり、太極の中心にあり。

一 太白

二

二寸五分、足の裏の中心にあり、太極の中心にあり。

一 復溜

二

二寸五分、足の裏の中心にあり、太極の中心にあり。

一 氣海

一

二寸五分、足の裏の中心にあり、太極の中心にあり。

一 脾俞

二

二寸五分、足の裏の中心にあり、太極の中心にあり。

一 梁門

二

二寸五分、足の裏の中心にあり、太極の中心にあり。

一 天樞

二

二寸五分、足の裏の中心にあり、太極の中心にあり。

一 滑肉門

二

二寸五分、足の裏の中心にあり、太極の中心にあり。

● 積聚

二

一 三里

二

二寸五分、足の裏の中心にあり、太極の中心にあり。

一 陰谷

二

二寸五分、足の裏の中心にあり、太極の中心にあり。

一 解谿

二

二寸五分、足の裏の中心にあり、太極の中心にあり。

一 膈俞

二

二寸五分、足の裏の中心にあり、太極の中心にあり。

一 脾俞

二

二寸五分、足の裏の中心にあり、太極の中心にあり。

一 三焦俞

二

二寸五分、足の裏の中心にあり、太極の中心にあり。

一 期門

二

二寸五分、足の裏の中心にあり、太極の中心にあり。

一 章門

二

二寸五分、足の裏の中心にあり、太極の中心にあり。

一 中脘

一

二寸五分、足の裏の中心にあり、太極の中心にあり。

一 関元

一

二寸五分、足の裏の中心にあり、太極の中心にあり。

● 黄疽

三

二寸五分、足の裏の中心にあり、太極の中心にあり。

一 天樞 てんすう 二 わろふん

一 氣海 きかい 一 わろふん

一 肝俞 かんゆ 二 九じふのト

一 脾俞 ひゆ 二 十一じふのト

一 胃俞 いゆ 二 十二じふのト

一 水分 すいぶん 一 わろふん

一 臍俞 しゆゆ 二 七じふのト

一 膽俞 たんゆ 二 十の推のト

一 腎俞 じんゆ 二 十二じふのト

遺溺 いじやく 十三

一 脾俞 ひゆ 二

一 腎俞 じんゆ 二

一 三里 さんり 二

一 肺俞 はいゆ 二 十二じふのト

一 氣海 きかい 一

秘結 ひけつ

大使不通

一 肝俞 かんゆ 二

一 腎俞 じんゆ 二

一 膽俞 たんゆ 二

一 大腸 たいちよう 二 十二じふのト



一 関元 二 穴

● 腎の下の穴

● 口中病

牙齒

そのやみ

一 少海 二 穴

● 肘の下の横筋の下角の穴の角

一 合谷 二 穴

● 大指の指の間の穴

一 内庭 二 穴

● 足の指の間の穴

一 四瀆

● 足の指の間の穴

一 上廉 二 穴

● 肘の下の横筋の下の角

一 大淵 二 穴

● 肘の下の横筋の下の角

一 三間 二 穴

● 肘の下の横筋の下の角

一 浮白 二 穴

● 頭の頂上の穴

一 陽白 二 穴

● 額の下の穴

● 齒痛

● 口の下の穴

一 商陽

● 牙

一 人中 一 穴

● 口の下の穴

一 内庭 二 穴

● 足の指の間の穴

一 大淵 二 穴

● 肘の下の横筋の下の角

一 呂細

守

奇

八寸

1574

九寸

一 じゆのこみ

一 尺八寸

一 五寸のこみせうの大椎 そこと十八ちちてき 一 尺八寸

一 一尺八寸 そこと十八ちちてき 一 尺八寸

一 一耳のこみの通横 そこと十八ちちてき 一 尺八寸

一 二寸 そこと十八ちちてき 一 尺八寸

一 一尺のこみ そこと十八ちちてき 一 尺八寸

一 せうのこみ そこと十八ちちてき 一 尺八寸

一 一尺のこみ そこと十八ちちてき 一 尺八寸

一 一尺のこみ そこと十八ちちてき 一 尺八寸

一 一尺のこみ そこと十八ちちてき 一 尺八寸

一 一尺のこみ そこと十八ちちてき 一 尺八寸

一 一尺のこみ そこと十八ちちてき 一 尺八寸

一 丁の前後の角より上角と三角八寸
 一 内角の上角と下角と 三角半
 一 内角の下角と内角の角と 三角半
 一 内角の角と地角と 三角
 一 足の上の角と 三角半
 一 足の角と 三角

せうの大椎を定る法

一 丁の上の角より上角と三角八寸
 一 内角の上角と下角と 三角半
 一 内角の下角と内角の角と 三角半
 一 内角の角と地角と 三角
 一 足の上の角と 三角半
 一 足の角と 三角

一 丁の角より上角と三角八寸



